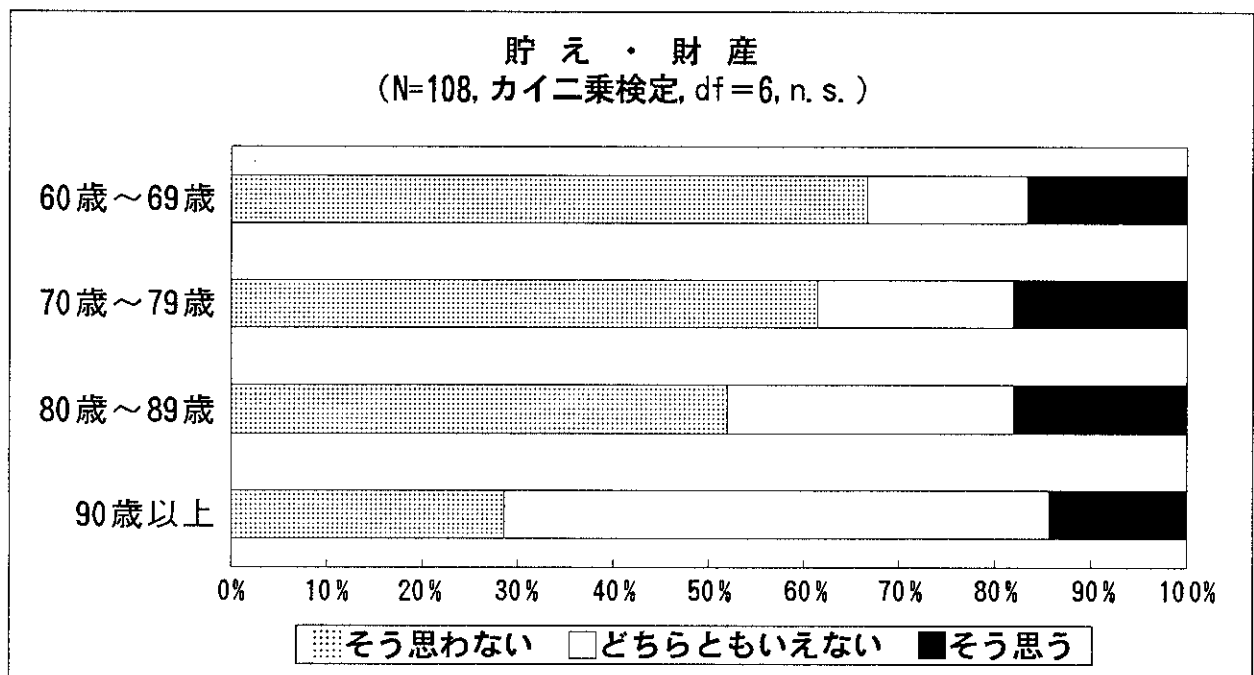


H-16 貯え・財産

「あなたのこれからの生活に対する貯えは十分だと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思わない」が55.6%で最も多く、次に「どちらともいえない」が26.9%、「そう思う」が17.6%であった。

年齢階層別に入居者をみると、60～69歳では、「そう思わない」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「そう思う」と「どちらともいえない」がそれぞれ16.7%であった。70～79歳では、「そう思わない」と回答した入居者が61.5%を占め、次に「どちらともいえない」が20.5%、「そう思う」が17.9%であった。80～89歳では、「そう思わない」と回答した入居者が52.0%を占め、次に「どちらともいえない」が30.0%、「そう思う」が18.0%であった。90歳以上では、「どちらともいえない」と回答した入居者が57.1%を占め、次に「そう思わない」が28.6%、「そう思う」が14.3%であった。

貯え・財産について、80～89歳では5割以上、60～69歳と70～79歳では6割以上の入居者が、「これからの生活に対する貯えは十分だと思わない」と回答している。

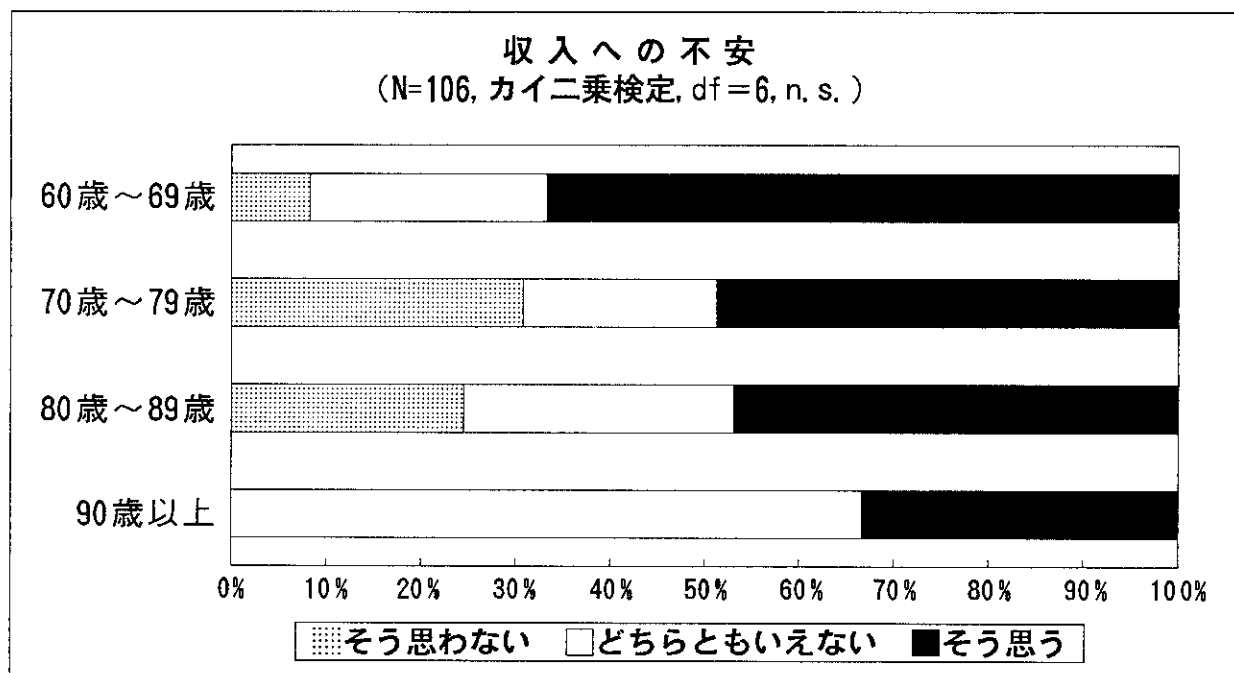


H-17 収入への不安

「あなたのこれからの収入に対して何か不安がありますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が49.1%で最も多く、次に「どちらともいえない」が27.4%、「そう思わない」が23.6%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「どちらともいえない」が25.0%、「そう思わない」が8.3%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が48.7%を占め、次に「そう思わない」が30.8%、「どちらともいえない」が20.5%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が46.9%を占め、次に「どちらともいえない」が28.6%、「そう思わない」が24.5%であった。90歳以上では、「どちらともいえない」と回答した入居者が66.7%を占め、次に「そう思う」が33.3%、「そう思わない」が0%であった。

収入への不安について、70～79歳と80～89歳では4割以上、60～69歳では6割以上の入居者が「自分のこれからの収入に対して何か不安があると思う」と回答していることから、入居者の半数近くは収入に対して、何らかの不安があると回答する傾向にあることがうかがわれる。

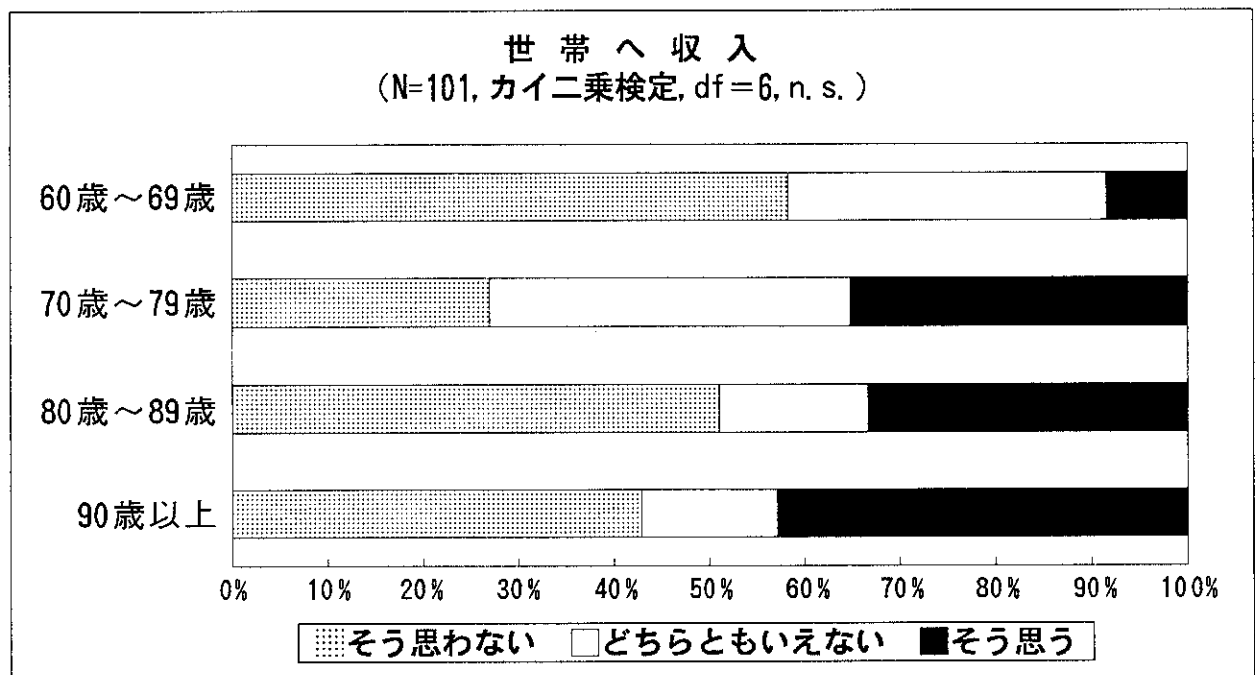


H-18 世帯の収入

「あなたの世帯の収入は生活するのに十分だと思いますか」という質問に対して「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思わない」が42.6%で最も多く、次に「そう思う」が31.7%、「どちらともいえない」が25.7%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思わない」と回答した入居者が58.3%を占め、次に「どちらともいえない」が33.3%、「そう思う」が8.3%であった。70～79歳では、「どちらともいえない」と回答した入居者が37.8%を占め、次に「そう思う」が35.1%、「そう思わない」が27.0%であった。80～89歳では、「そう思わない」と回答した入居者が51.1%を占め、次に「そう思う」が33.3%、「どちらともいえない」が15.6%であった。90歳以上では、「そう思う」と「そう思わない」と回答した入居者がそれぞれ42.9%を占め、次に「どちらともいえない」が14.3%であった。

世帯の収入について、60～69歳と80～89歳では5割以上の入居者が、「世帯の収入は生活をするのに十分だと思わない」と回答している。

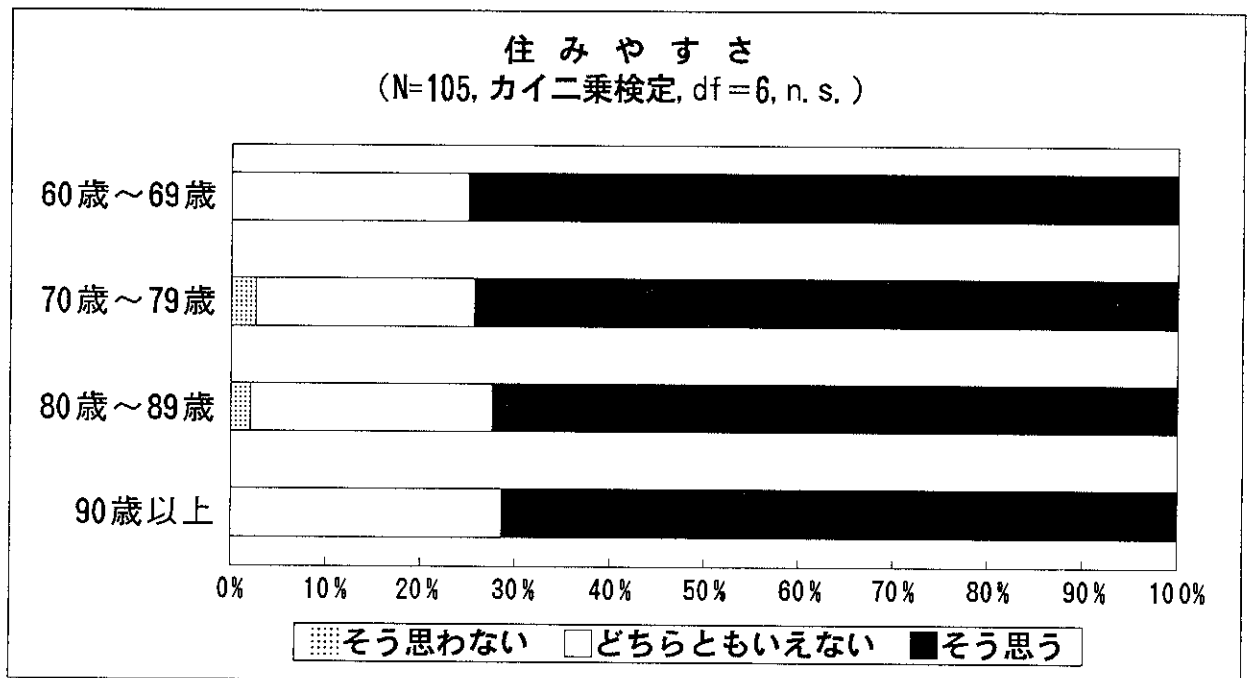


H-19 住みやすさ

「今の施設は過ごしやすいと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が73.3%で最も多く、次に「どちらともいえない」が24.8%、「そう思わない」が1.9%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が75.0%を占め、次に「どちらともいえない」が25.0%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が74.4%を占め、次に「どちらともいえない」が23.1%、「そう思わない」が2.6%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が72.3%を占め、次に「どちらともいえない」が25.5%、「そう思わない」が2.1%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が71.4%を占め、次に「どちらともいえない」が28.6%、「そう思わない」が0%であった。

住みやすさについて、各年齢層とも、「今の施設は過ごしやすいと思う」と肯定的に回答した入居者が7割以上を占め、回答傾向は類似している。

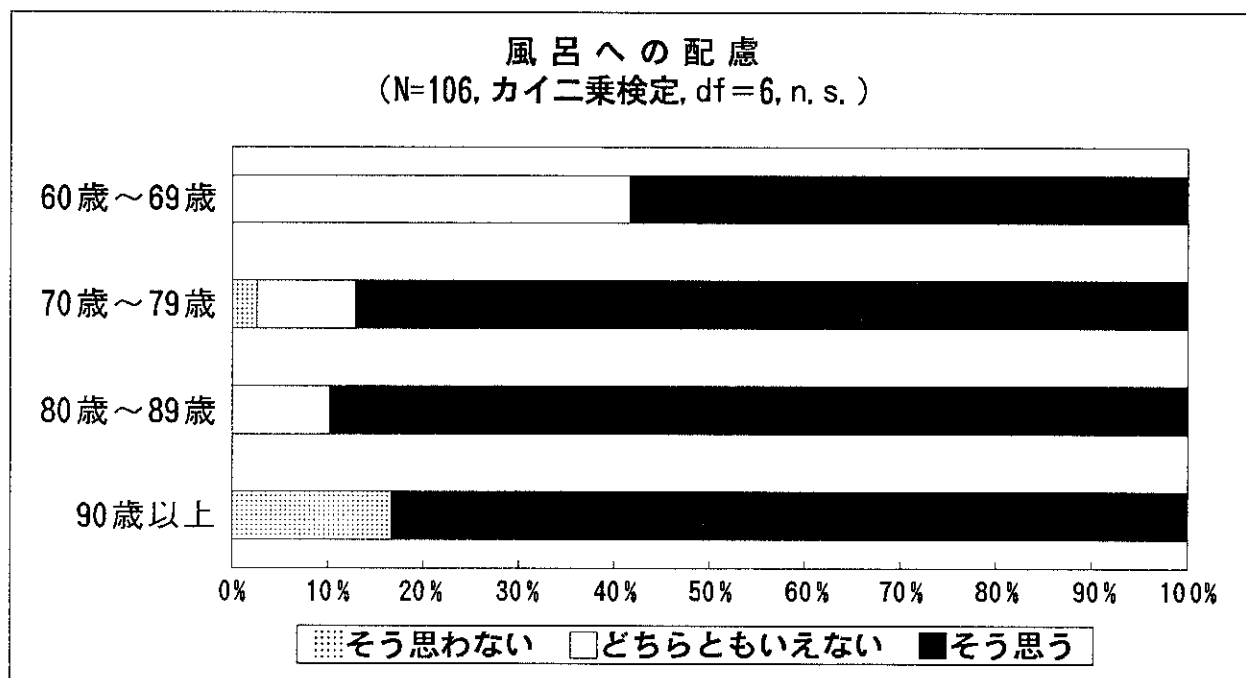


H-20 風呂への配慮

「お風呂はあなたが使いやすいようになっていると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が84.9%で最も多く、次に「どちらともいえない」が13.2%、「そう思わない」が1.9%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が58.3%を占め、次に「どちらともいえない」が41.7%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が87.2%を占め、次に「どちらともいえない」が10.3%、「そう思わない」が2.6%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が89.8%を占め、次に「どちらともいえない」が10.2%、「そう思わない」が0%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が83.3%を占め、次に「そう思わない」が16.7%、「どちらともいえない」が0%であった。

風呂への配慮について、「お風呂は使いやすいようになっていると思う」と回答した入居者の割合は、70～79歳、80～89歳、90歳以上では8割以上を占めている。

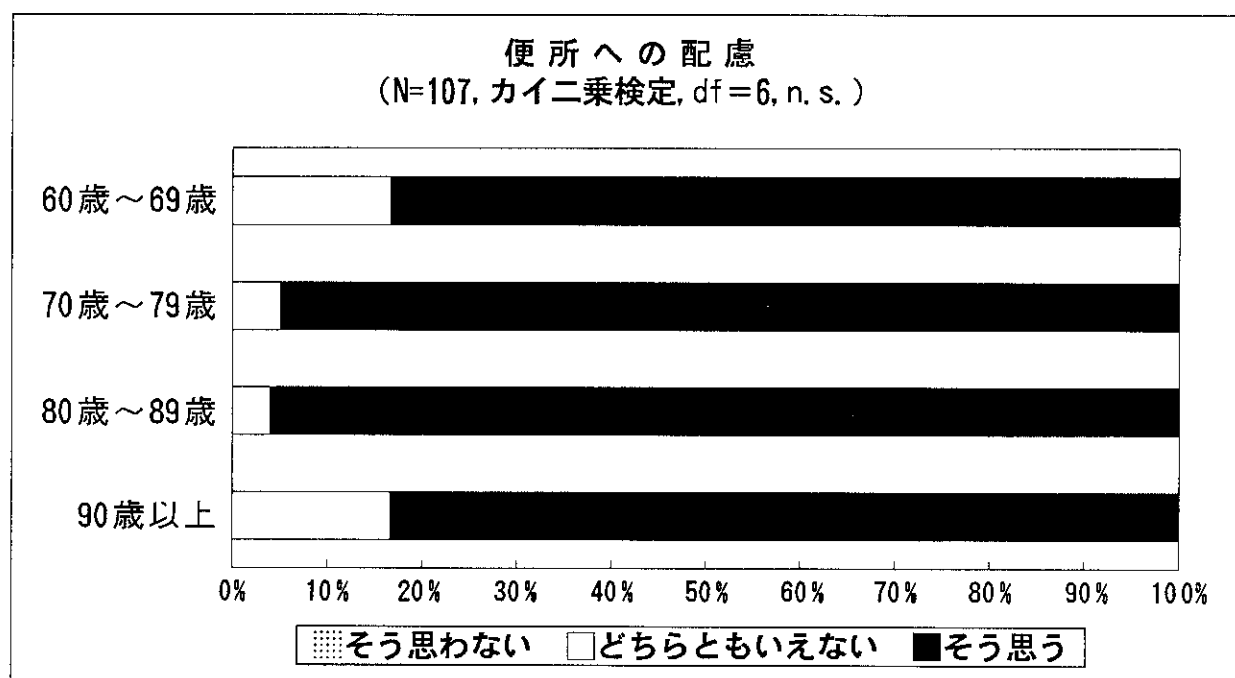


H-21 便所への配慮

「便所はあなたが使いやすいようになっていると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が93.5%で最も多く、次に「どちらともいえない」が6.5%、「そう思わない」が0%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が83.3%を占め、次に「どちらともいえない」が16.7%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が94.9%を占め、次に「どちらともいえない」が5.1%、「そう思わない」が0%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が96.0%を占め、次に「どちらともいえない」が4.0%、「そう思わない」が0%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が83.3%を占め、次に「どちらともいえない」が16.7%、「そう思わない」が0%であった。

便所への配慮について、各年齢層とも「便所は使いやすいようになっていると思う」と肯定的に回答した入居者が8割を占め、また「便所は使いやすいようになっていると思わない」と否定的に回答した入居者が一人もいなかったことから、入居者の多くは便所は使いやすくなっていると回答する傾向にあることがうかがえる。

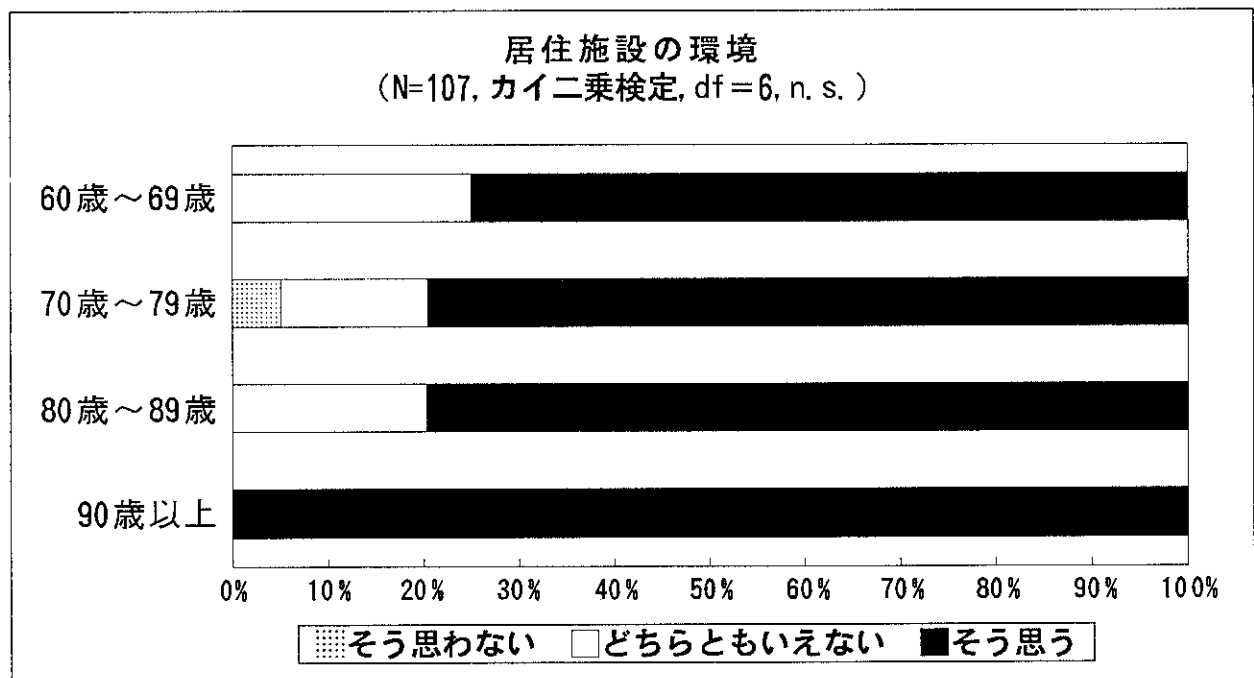


H-22 居住施設的环境

「今住んでおられる施設的环境はよいと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が80.4%で最も多く、次に「どちらともいえない」が17.8%、「そう思わない」が1.9%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が75.0%を占め、次に「どちらともいえない」が25.0%、「そう思わない」が0%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が79.5%を占め、次に「どちらともいえない」が15.4%、「そう思わない」が5.1%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が79.6%を占め、次に「どちらともいえない」が20.4%、「そう思わない」が0%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が100%を占め、次に「どちらともいえない」と「そう思わない」がそれぞれ0%であった。

居住施設的环境について、各年齢層とも「今住んでいる施設的环境はよいと思う」と回答する入居者が7割を超えており、年齢層が高くなるにつれて肯定的に回答する傾向にあることがうかがえる。

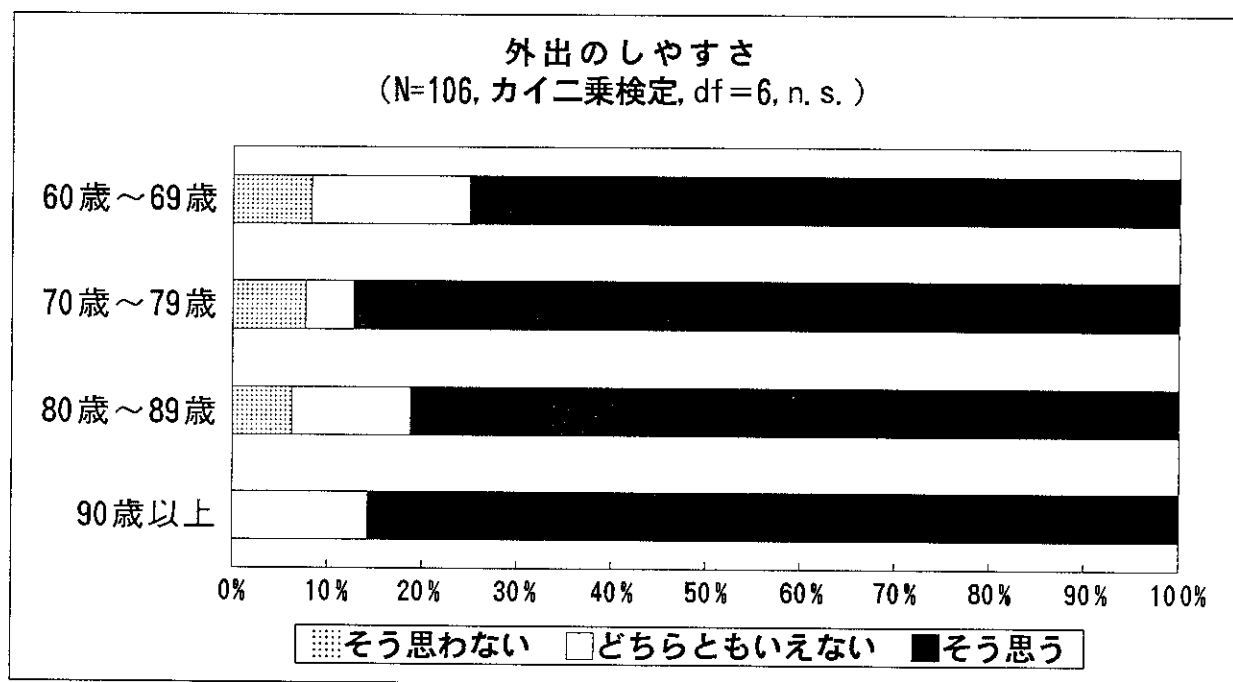


H-23 外出のしやすさ

「好きなときに外出していると思いますか」という質問に対して、「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」の3段階の回答選択肢を用意し、入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が83.0%で最も多く、次に「どちらともいえない」が10.4%、「そう思わない」が6.6%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では、「そう思う」と回答した入居者が75.0%を占め、次に「どちらともいえない」が16.7%、「そう思わない」が8.3%であった。70～79歳では、「そう思う」と回答した入居者が87.2%を占め、次に「そう思わない」が7.7%、「どちらともいえない」が5.1%であった。80～89歳では、「そう思う」と回答した入居者が81.3%を占め、次に「どちらともいえない」が12.5%、「そう思わない」が6.3%であった。90歳以上では、「そう思う」と回答した入居者が85.7%を占め、次に「どちらともいえない」が14.3%、「そう思わない」が0%であった。

外出のしやすさについて、60～69歳では7割以上、70～79歳、80～89歳、90歳以上では8割以上の入居者が、「好きなときに外出していると思う」と肯定的に回答している。

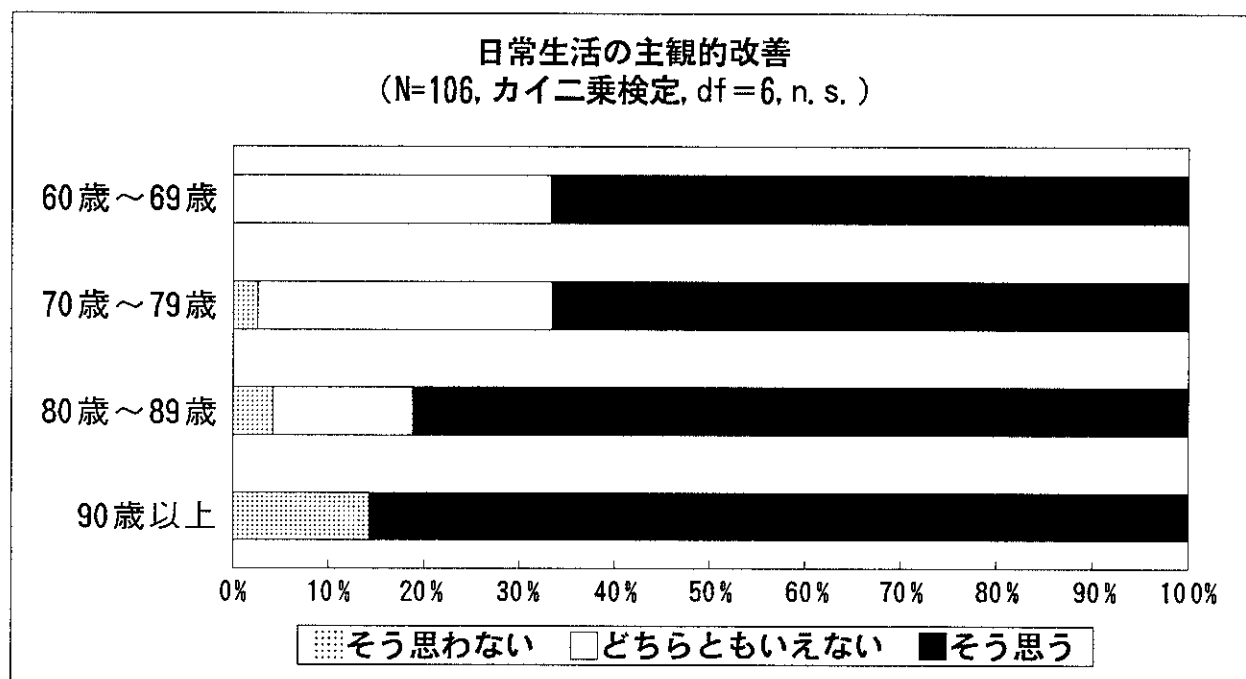


H-24 日常生活の主観的改善

「施設に住まれて、毎日の生活が過ごしやすくなったと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」、「どちらともいえない」、「そう思う」の3つの選択肢を用意して、施設入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が最も多く、74.5%を占め、次に「どちらともいえない」が21.7%、「そう思わない」が3.8%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では「そう思う」が66.7%と最も多く、次に「どちらともいえない」が33.3%であった。70～79歳では「そう思う」が66.7%と最も多く、次に「どちらともいえない」が30.8%であった。80～89歳では「そう思う」が81.3%と最も多く、次に「どちらともいえない」が14.6%であった。90歳以上では「そう思う」が85.7%と最も多く、次に「そう思わない」が14.3%であった。

日常生活の主観的改善について年齢階層別にみると、「そう思う」と肯定的に回答した入居者の割合は、80～89歳および90歳以上で8割以上を占めており、90歳以上では60～69歳や70～79歳よりも20ポイント程度高くなっている。

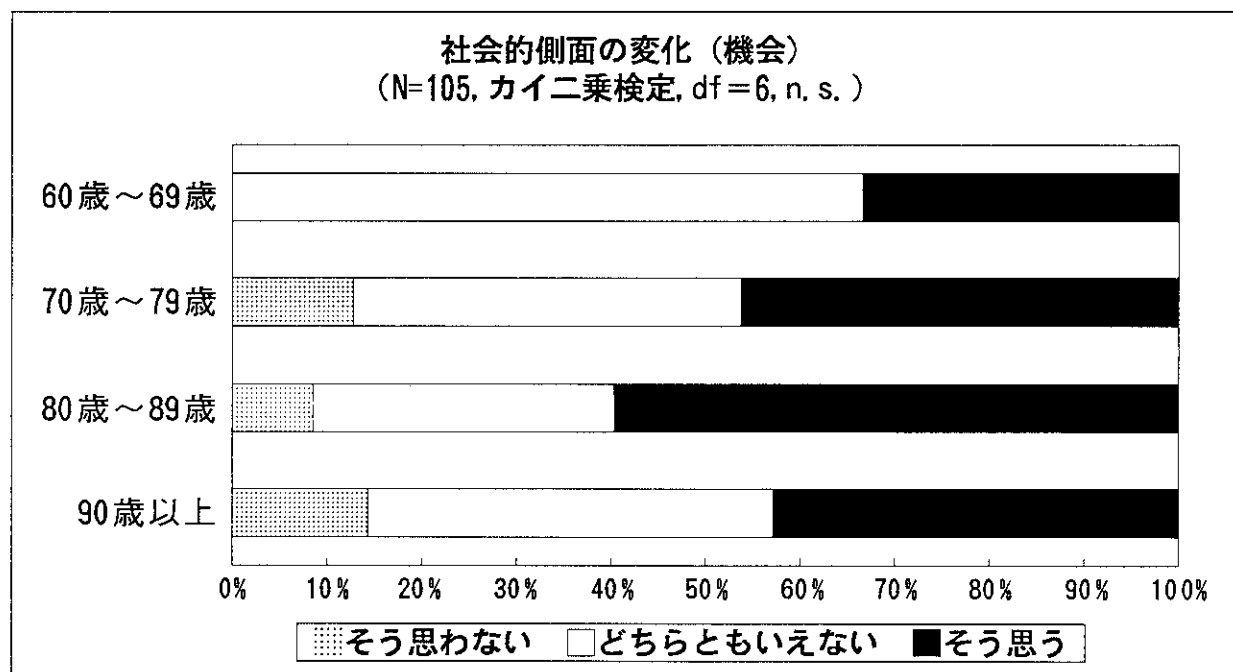


H-25 社会的側面の変化（機会）

「施設に住まれて、周りの人たちと触れ合う機会が増えたと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」、「どちらともいえない」、「そう思う」の3つの選択肢を用意して、施設入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が最も多く、50.5%を占め、次に「どちらともいえない」が40.0%、「そう思わない」が9.5%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では「どちらともいえない」が66.7%と最も多く、次に「そう思う」が33.3%であった。70～79歳では「そう思う」が46.2%と最も多く、次に「どちらともいえない」が41.0%であった。80～89歳では「そう思う」が59.6%と最も多く、次に「どちらともいえない」が31.9%であった。90歳以上では「そう思う」と「どちらともいえない」がそれぞれ42.9%と最も多く、次に「そう思わない」が14.3%であった。

社会的側面の変化（機会）について年齢階層別にみると、「そう思う」と肯定的に回答した入居者の割合は、80～89歳でおよそ6割を占めており、60～69歳よりも25ポイント程度高くなっている。

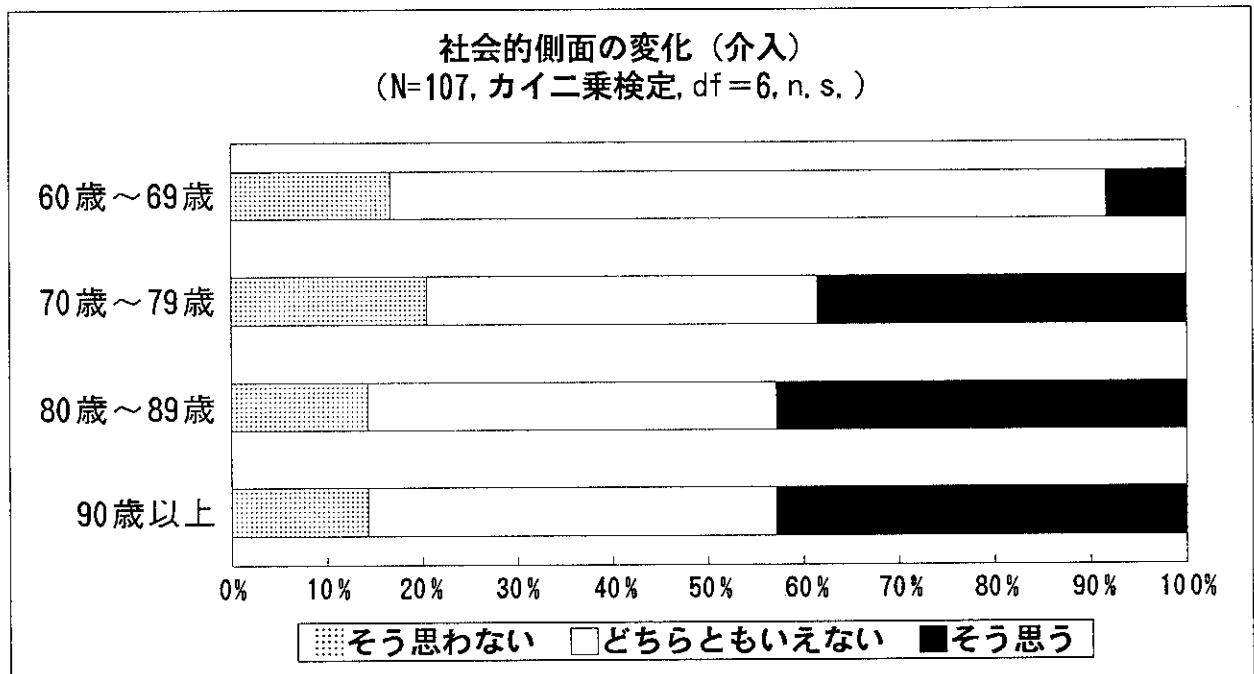


H-26 社会的側面の変化（介入）

「施設に住まれて、周りの人たちと意欲的に触れ合うようになったと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」、「どちらともいえない」、「そう思う」の3つの選択肢を用意して、施設入居者に尋ねた。その結果、「どちらともいえない」が最も多く、45.8%を占め、次に「そう思う」が37.4%、「そう思わない」が16.8%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では「どちらともいえない」が75.0%と最も多く、次に「そう思わない」が16.7%であった。70～79歳では「どちらともいえない」が41.0%と最も多く、次に「そう思う」が38.5%であった。80～89歳では「そう思う」と「どちらともいえない」がそれぞれ42.9%と最も多く、次に「そう思わない」が14.3%であった。90歳以上では「そう思う」と「どちらともいえない」がそれぞれ42.9%と最も多く、次に「そう思わない」が14.3%であった。

社会的側面の変化（介入）について年齢階層別にみると、「そう思う」と肯定的に回答した入居者の割合は、80～89歳および90歳以上で4割以上を占めており、60～69歳よりも35ポイント程度高くなっている。

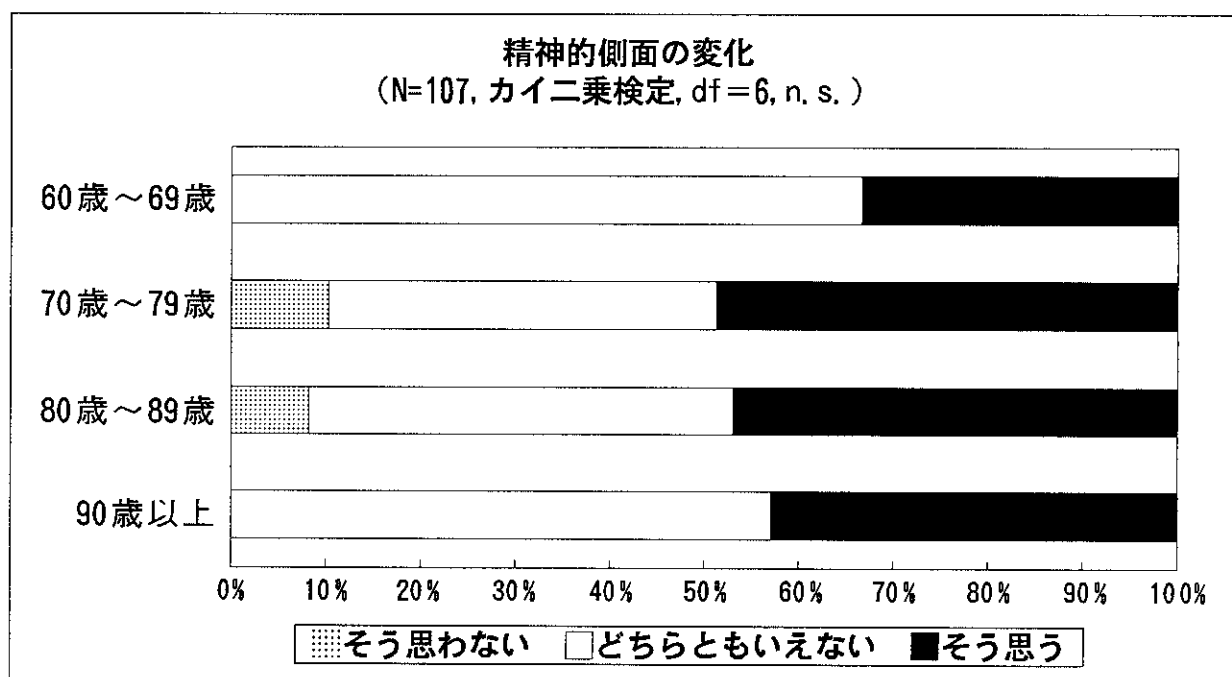


H-27 精神的側面の変化

「施設に住まれて、気持ちが明るくなったと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」、「どちらともいえない」、「そう思う」の3つの選択肢を用意して、施設入居者に尋ねた。その結果、「どちらともいえない」が最も多く、46.7%を占め、次に「そう思う」が45.8%、「そう思わない」が7.5%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では「どちらともいえない」が66.7%と最も多く、次に「そう思う」が33.3%であった。70～79歳では「そう思う」が48.7%と最も多く、次に「どちらともいえない」が41.0%であった。80～89歳では「そう思う」が46.9%と最も多く、次に「どちらともいえない」が44.9%であった。90歳以上では「どちらともいえない」が57.1%と最も多く、次に「そう思う」が42.9%であった。

精神的側面の変化について年齢階層別にみると、「そう思う」と肯定的に回答した入居者の割合は、60～69歳で3割以上、その他の年齢階層では4割以上を占めている。

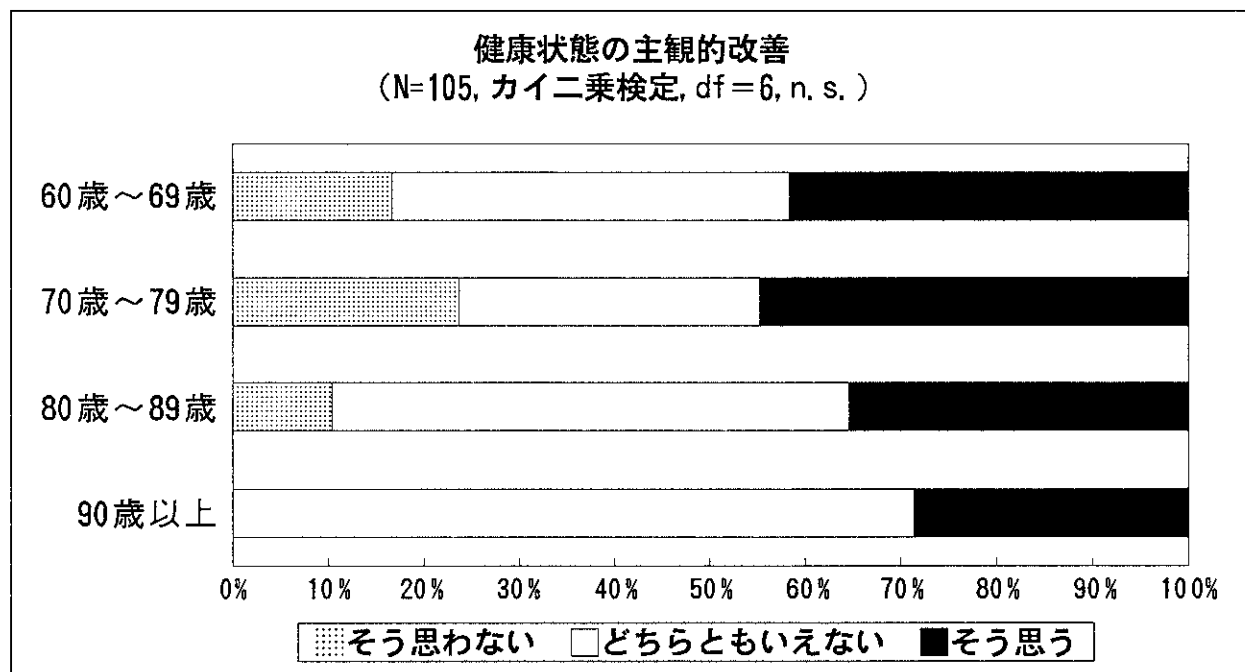


H-28 健康状態の主観的改善

「施設に住まれて、体の調子が良くなったと思いますか」という質問に対して、「そう思わない」、「どちらともいえない」、「そう思う」の3つの選択肢を用意して、施設入居者に尋ねた。その結果、「どちらともいえない」が最も多く、45.7%を占め、次に「そう思う」が39.0%、「そう思わない」が15.2%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では「そう思う」と「どちらともいえない」がそれぞれ41.7%と最も多く、次に「そう思わない」が16.7%であった。70～79歳では「そう思う」が44.7%と最も多く、次に「どちらともいえない」が31.6%であった。80～89歳では「どちらともいえない」が54.2%と最も多く、次に「そう思う」が35.4%であった。90歳以上では「どちらともいえない」が71.4%と最も多く、次に「そう思う」が28.6%であった。

健康状態の主観的改善について年齢階層別にみると、「そう思う」と肯定的に回答した入居者の割合は、60～69歳および70～79歳で4割以上を占めており、70～79歳は90歳以上よりも15ポイント程度高くなっている。

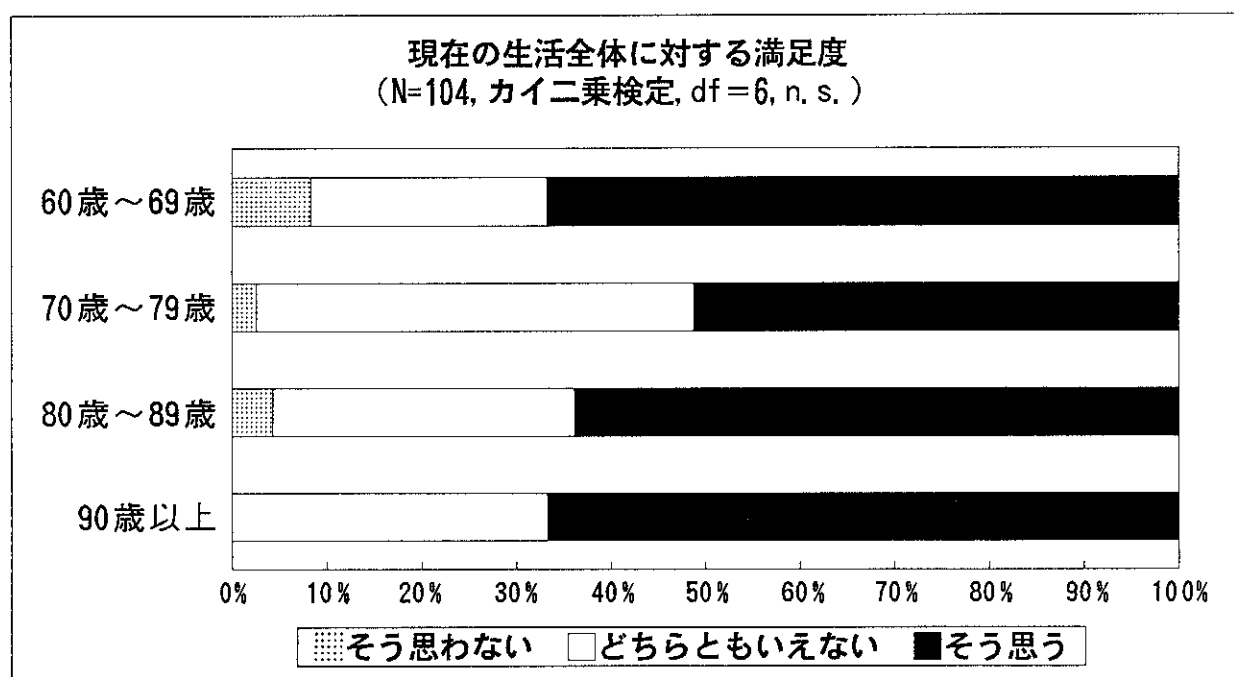


H-29 現在の生活全体に対する満足度

「今の生活に対して満足していますか」という質問に対して、「そう思わない」、「どちらともいえない」、「そう思う」の3つの選択肢を用意して、施設入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が最も多く、59.6%を占め、次に「どちらともいえない」が36.5%、「そう思わない」が3.8%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では「そう思う」が66.7%と最も多く、次に「どちらともいえない」が25.0%であった。70～79歳では「そう思う」が51.3%と最も多く、次に「どちらともいえない」が46.2%であった。80～89歳では「そう思う」が63.8%と最も多く、次に「どちらともいえない」が31.9%であった。90歳以上では「そう思う」が66.7%と最も多く、次に「どちらともいえない」が33.3%であった。

現在の生活全体に対する満足度について年齢階層別にみると、「そう思う」と肯定的に回答した入居者の割合は、70～79歳で5割以上、その他の年齢階層では6割以上を占めている。

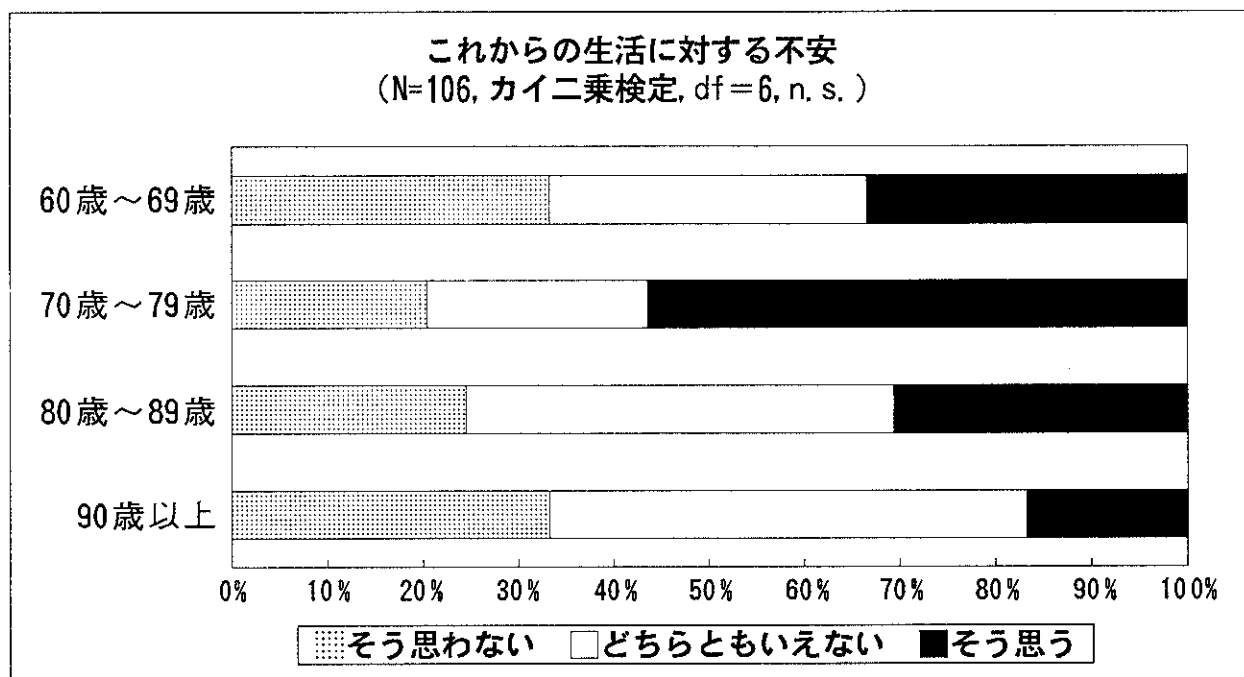


H-30 これからの生活に対する不安

「これからの生活に対して不安がありますか」という質問に対して、「そう思わない」、「どちらともいえない」、「そう思う」の3つの選択肢を用意して、施設入居者に尋ねた。その結果、「そう思う」が最も多く、39.6%を占め、次に「どちらともいえない」が35.8%、「そう思わない」が24.5%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図のように、60～69歳では「そう思う」、「どちらともいえない」および「そう思わない」がそれぞれ33.3%であった。70～79歳では「そう思う」が56.4%と最も多く、次に「どちらともいえない」が23.1%であった。80～89歳では「どちらともいえない」が44.9%と最も多く、次に「そう思う」が30.6%であった。90歳以上では「どちらともいえない」が50.0%と最も多く、次に「そう思わない」が33.3%であった。

これからの生活に対する不安について年齢階層別にみると、「そう思う」と肯定的に回答した入居者の割合は、70～79歳で5割以上を占めており、90歳以上よりも40ポイント程度高くなっている。



IV-1 LSIK尺度（ケアハウス入居者）

I-0 基本的視点

本章では、ケアハウスに居住している高齢者が、これまでの人生全体や最近の出来事、自身の老いなどについてどのように感じているのかを把握する。さらに、「60～69歳」、「70～79歳」、「80～89歳」、「90歳以上」の4つの年齢階層別に比較・分析を行う。

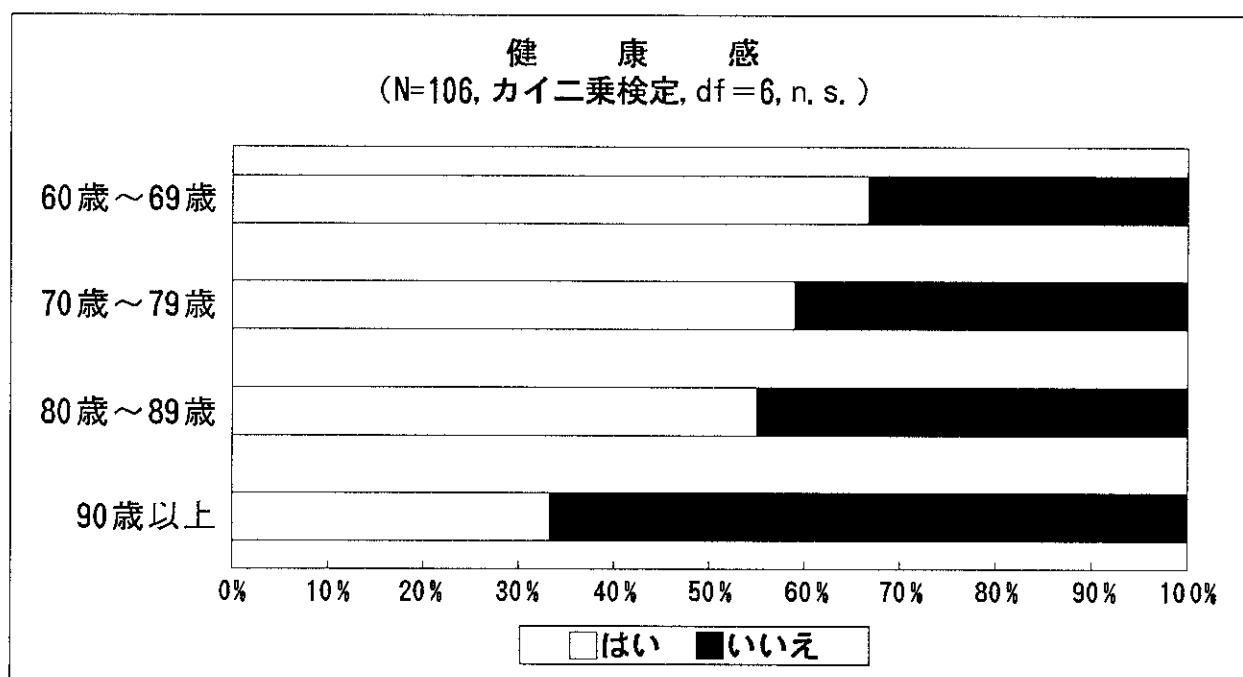
質問の内容は、『人生全体についての満足感』、『心理的安定』、『老いについての評価』の3つの枠組みで構成された「去年と同じように元気だ」、「今の生活に不幸せなことがある」、「小さなことを気にするようになった」、「私の人生は恵まれていた」、「年をとって役に立たなくなった」、「人生をふりかえてみて満足できる」、「生きることはきびしい」、「物事をいつも深刻に考える」、「人生で求めていたことを実現できた」の合計9項目である。これらの質問項目は、高齢者の主観的幸福感を測定するために開発された尺度であり、生活満足度尺度K（Life Satisfaction Index K；LSIK）と呼ばれているものである。「今の生活に不幸せなことがある」については、「ほとんどない」、「いくらかある」、「たくさんある」の3段階の回答選択肢で尋ねた。「年をとって役に立たなくなった」については、「そう思う」、「そうは思わない」の2段階の回答選択肢で尋ねた。「人生をふりかえてみて満足できる」については、「満足できる」、「だいたい満足できる」、「満足できない」の3段階の回答選択肢で尋ねた。その他の質問項目については、「はい」、「いいえ」の2段階の回答選択肢で尋ねた。

1-1 健康感

「あなたは去年と同じように元気だと思いますか」という質問に対する施設入居者の回答は、「はい」が56.6%、「いいえ」が43.4%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図に示すように、60～69歳では「はい」が66.7%、「いいえ」が33.3%であった。70～79歳では「はい」が59.0%、「いいえ」が41.0%であった。80～89歳では「はい」が55.1%、「いいえ」が44.9%であった。90歳以上では「はい」が33.3%、「いいえ」が66.7%であった。

健康感について年齢階層別にみると、「はい」と肯定的に回答した入居者の割合は、60～69歳で6割以上を占めているが、年齢階層の上昇とともにその割合は減少し、90歳以上では3割程度となっている。

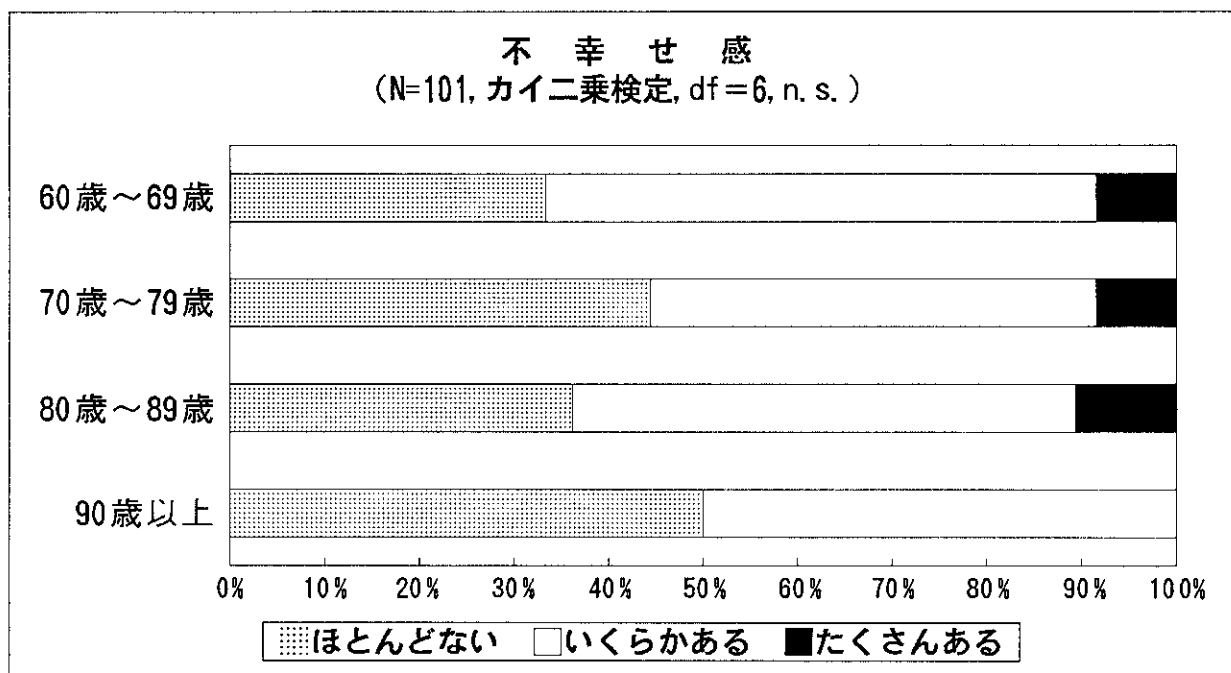


1-2 不幸せ感

「全体として、あなたの今の生活に、不幸せなことがどれくらいあると思いますか」という質問に対する施設入居者の回答は、「いくらかある」が最も多く、51.5%を占め、次に「ほとんどない」が39.6%、「たくさんある」が8.9%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図に示すように、60～69歳では「いくらかある」が58.3%と最も多く、次に「ほとんどない」が33.3%であった。70～79歳では「いくらかある」が47.2%と最も多く、次に「ほとんどない」が44.4%であった。80～89歳では「いくらかある」が53.2%と最も多く、次に「ほとんどない」が36.2%であった。90歳以上では「いくらかある」と「ほとんどない」がそれぞれ50.0%であった。

不幸せ感について年齢階層別にみると、「ほとんどない」と否定的に回答した入居者の割合は、60～69歳および80～89歳では3割以上、70～79歳では4割以上、90歳以上では5割となっている。

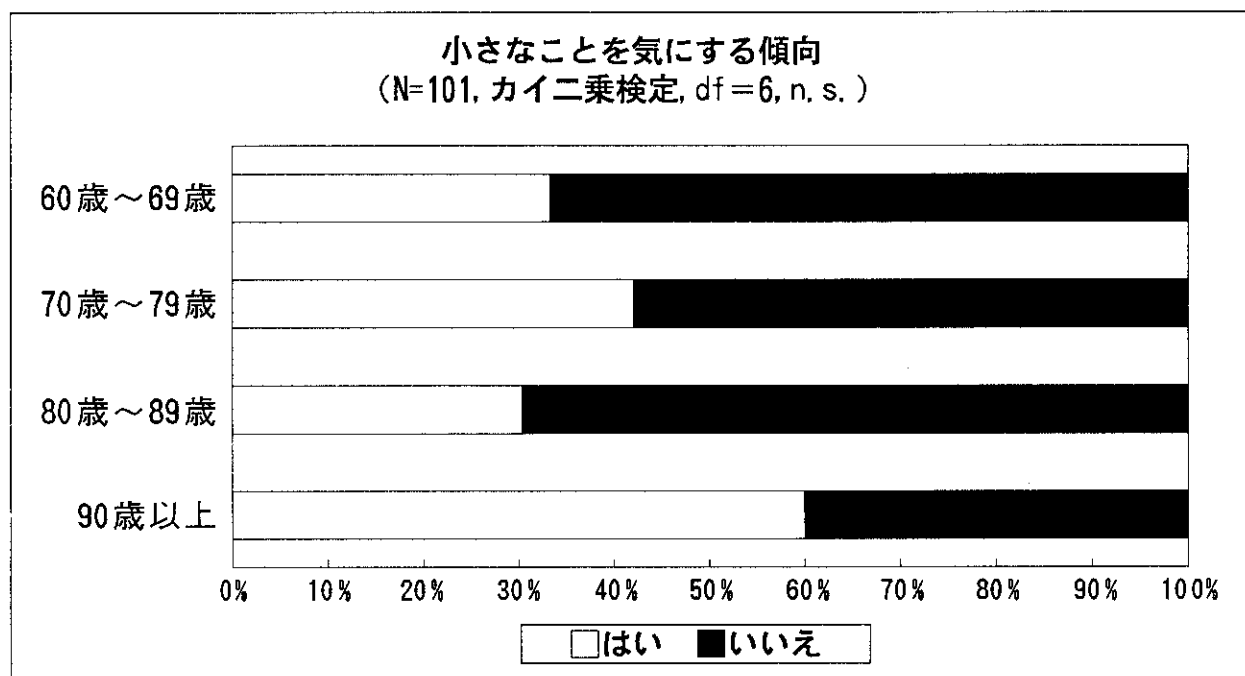


1-3 小さなことを気にする傾向

「最近になって小さなことを気にするようになったと思いますか」という質問に対する施設入居者の回答は、「はい」が36.6%、「いいえ」が63.4%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図に示すように、60～69歳では「いいえ」が66.7%と多く、「はい」が33.3%であった。70～79歳では「いいえ」が57.9%と多く、「はい」が42.1%であった。80～89歳では「いいえ」が69.6%と多く、「はい」が30.4%であった。90歳以上では「はい」が60.0%と多く、「いいえ」が40.0%であった。

小さなことを気にする傾向について年齢階層別にみると、「いいえ」と否定的に回答した入居者の割合は、60～69歳、70～79歳、80～89歳ではそれぞれ5～6割を占めているが、90歳以上では4割とやや低くなっている。



1-4 人生に対する自己評価

「あなたの人生は、他の人にくらべて恵まれていたと思いますか」という質問に対する施設入居者の回答は、「はい」が63.5%、「いいえ」が36.5%であった。

年齢階層別に入居者をみると、図に示すように、60～69歳では「いいえ」が66.7%と多く、「はい」が33.3%であった。70～79歳では「はい」が67.6%と多く、「いいえ」が32.4%であった。80～89歳では「はい」が65.3%と多く、「いいえ」が34.7%であった。90歳以上では「はい」が83.3%と多く、「いいえ」が16.7%であった。

人生に対する自己評価について年齢階層別にみると、「はい」と肯定的に回答した入居者の割合は、60～69歳では3割程度とやや低くなっているが、70～79歳、80～89歳、90歳以上では6～8割を占めている。

